
三十路非正規童貞物語

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

三十路非正規童貞物語

【Nコード】

N8162N

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

20枚完結予定です。絵文字があるんでケータイ閲覧推奨！

新田ぶちよしは、34歳であった。バイト。つまり非正規労働者。しかもセックスしたことがない。いまだ童貞。

月収十万円。アパートが借りられないので、親の家に住んでいる。ぶちよしは、休日に武器店に行く。日本刀、マシンガン、爆弾。いろいろ売っている。ぶちよしは年内に通り魔をする計画を練っている。十年も世間に低賃金重労働を押し付けられていい加減頭にきている。ここらで爆発して極悪な世間を懲らしめたい。

「でもどれもこれも高いなあ」

目の前にある日本刀など、1000万円もする。

振り回してみる。具合がいい。これで人を斬り殺すと相当気持ちいい。

「親父。これ、何でこんなに高いんだい？」

「くそ宗かい？それは職人の技が光ってるからねえ」

1000万割る10万は、100。100か月分の給料でやっと買える。

小説が十萬部売れると印税が1000万円なのだが。

「くそ。小説が売ればなあ」

ぶちよしは小説を書いている。

しかしまあ小説ちうのは難関な世界だ。社員になるより倍率高い。

社員でさえ倍率高い時代である。ぶちよしの実力では無理。すでに5000枚書き何十回も応募してるのに全部落選。才能なし。

ぶちよしは居酒屋で酒を浴びた。

「ういゝひつくひつく。どいつもこいつも」

「ぶつちゃん。およしよ。飲み過ぎだよ」

「うるせえ大将。酒だ酒だ」

カウンターの隅で飲んでいた女の子もだいぶ酔っていた。

「大将。あたしにも酒」

「顔色悪いよ。およしよ」

「うるせえ」

なぜかよくわからぬが、ぷちよしと女の子は外に出て殴り合いの大喧嘩をしていた。理由なんてよくわからぬ。酔っぱらいのすること。わああああああああ。

いつの間にかすごい観客だ。

「うりゃっうりゃ」

「えい！やあ！」

「解説の亀田さん。この試合どちらが勝ちますか」

「そうですねえ。強い方が勝ちます」

わああああああああ。

観客総立ち。

かんかんかん。

「はあはあはあ」

「はあはあはあ」

いつの間にか二人はベッドの上。ラブホテル。どうにもエロな試合をやってしまったようだ。知らぬ間に。

「付き合っ？」

「そうするしかないわねえ」

女の子の名前はロリ華。小学五年生。なぜ酒を飲んでいたかといえば、ロリ華はすでに児童専門のデリヘルを仕事としており、先輩に教えてもらったのだ。家が貧乏なのでそういう仕事もしなきゃならぬのだ。政府は何をやっておる？

ぷちよしは塾とスーパーでバイトをしていた。

ロリ華にうちの塾おいでよ成績上がるよと誘う。うちの塾は低価格だよ。

しかしロリ華は無理だという。お父さんの借金を返すのが先だと。そんなわけで、ぷちよしは仕事が終わると、ロリ華と家族の住む、公園のテントへ行き、ロリ華の勉強を見た。

「ロリ華。はね」

「ぶっちゃんのエッチ。おっパイテ」

「違う違うdifferent! 円周率のことだよ。あ。小学校は、
3.14か」

「こじ。PCで閲覧してる人、ごめん。
？」

？

？

??????

??????

それからどろしたヒヤッブー——

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8162n/>

三十路非正規童貞物語

2010年10月9日12時59分発行